

校区史の取材記録
牧山克郎さんの巻
(池之久保)

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行



多彩な趣味をお持ちの牧山さん宅を訪ねると、まず見事な**盆栽**が目に入ります。「子どものころ父親に『挿木の周りの草取りをせえ』と言われ、草取りしていたら間違っって挿木まで抜いてしまった。そしたら晩飯抜き！本当に晩飯抜きやった。それほど父親は盆栽好きやった。父親の趣味を継いだとやろーなあ。今でも盆栽は自分の生きがいやな。」(作品群はほんの一部です。)



『一日一言 人生日記』の読書が海朝の習慣。今は絶版になり、入手不可能。貴重な書籍↓



Q 習字を学び始めたのは高校二年生の頃だそうですが、文字をきれいに整えて書くコツはどんなことですか？

A 漢字はマス全体の三分の二の大きさで平仮名は三分の一の大きさで書くことです。すると日本語の文章は非常に読みやすくなる。(右の写真「報恩」をご参考に。)



アクリル画『屋根付競技場』



アクリル画『浦田海水浴場』

Q 牧山さんは種子島の**歴史**にとっても詳しいのですが、どんなきっかけで歴史を学ぼうとしたのですか？

A いとこに鮫島安豊がおるが、おれの家に来て、焼酎飲むときは歴史の話ばっかやあちや。安豊の言うことあ「しきいの話かや」と疑うてメモしとったとや。40歳の時やった。懇意にしていた平山武章先生に「ある人がこあんことを言うばって、本当のことかや？」と訊くと「本当や」というわけです。それから逆におれが安豊に質問するわけです。自分にとって必要な分だけやばって。

それから1976年(S51)のことやった。家の廃材を牧之峯のゴミ処理場に捨てに行きたいば、段ボール箱に鮫島宗美先生、前田豊山先生、最上宏先生、井元正流先生の本など貴重な資料が投げ捨ててあって。それをもろうてきて、夢中になって読み始めたのがきっかけでしたな。



取材を進めると多くの知識があふれ出しますが、決して自慢することなく、飄々と自分の失敗談を笑顔で語る様子が可笑しくて、とても親しみやすい方でした。上西の「知の巨人」です。

次号「上西だより」予定

伊勢神社
秋季大祭

